

美術 I

1. 学習の到達目標

美術の幅広い活動を通じて、美的体験を豊かにし美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力をのばす。

2. 使用教科書 高校生の美術1 (日本文教出版)

3. 指導計画

1 学年

学 期	学 習 内 容	学 習 活 動
前 期	4月 【ガイダンス】 ・授業を受ける上での注意と評価方法の説明	
	4月 【デザイン/自己紹介カードを描こう】 ・自分のことがよく伝わるカードを作る	・視覚伝達デザインであることを理解し、目的に合わせて色彩やトーン、文字を効果的に活用して、作品を構成する
	5月 【鑑賞 教科書鑑賞】 ・教科書を通して作品を鑑賞し、ディベートをアレンジしたスタイルで感想を述べ合う	・お互いの感想を通して作品の良さに気づき、自分や他者の感性と向き合う
	6月 【絵画・彫刻/鉛筆デッサン】 ・身近な物をよく観察し、描く	・自然物や人工物のそれぞれの美しさを意識しながら構図を取り、色彩や明暗、質感を大切に表現をする
	7・8月 【デザイン/ロゴマークを作る】 ・架空の会社を設立し、その会社のロゴマークをデザインする	・文字とイラストを使って情報やイメージを的確に伝える
9月 【映像メディア表現/絵コンテを作る】 ・ロゴマーク制作の際に設立した架空の会社のCM絵コンテを制作する	・絵コンテの描画を通して、CMやアニメーションにおける絵コンテの重要性を知る。	
後 期	10・11月 【絵画・彫刻/抽象絵画】 ・様々な画材を活用して、テーマに沿った表現をする。	・抽象表現を通して、画材や自分の新たな表現力に気づく。
	12~2月 【絵画・彫刻/抽象彫刻を作る】 ・環境との調和や、社会的な役割などを意識して、パブリックアートを制作する	・パブリックアートの目的や役割を理解する。 ・環境と作品の関係を意識して制作の計画をたてる。
	3月 【鑑賞/作品展】 展示活動を通して、一年間の学習を振り返る	・展示を通して、作品への愛着心や他者の作品への理解を高める

2 学年

学 期	学 習 内 容 と ね ら い	学 習 活 動
前 期	4~7月 【ガイダンス】 ・授業を受ける上での注意と評価方法の説明	
	4~7月 【絵画・彫刻/墨表現の可能性】 ・水墨画を描く	・日本美術の表現の特色や美意識を感じ取る ・簡素化、単純化の良さを感じ取り、文化や伝統に対する愛着と理解を深める。 ・白と黒のバランスを意識しながら、ぼかしやにじみといった技法を活用して、美しく作品を制作する
	8~9月 【デザイン/スマートフォンスタンドを作る】 ・自分が使用して心地よいと思えるデザインを作る	・製品に求められる要素を理解し、使いやすさ、形、色の観点から、条件に合うものを制作する。
後 期	10~2月 【自由制作】 It's my self ~今の自分を表現する~ ・過去の制作を振り返りながら、自分の考えや想いに適したテーマや表現方法を決め、制作する	・課題テーマを決定する ・計画表(スケジュールと造形手順)を作る ・最後の作品にふさわしいように、よく構想を練り、集中して制作に取りかかるよう努める
	3月 【鑑賞/作品展】 展示活動を通して、一年間の学習を振り返る	・展示を通して、作品への愛着心や他者の作品への理解を高める

4. 評価規準と方法

【評価規準】

- 授業の目的を理解して、意欲的に取り組むことが出来る
- 自己の感性や想像力を働かせて、主題にふさわしい構想を練ることが出来る
- 意図に応じて表現方法を工夫し、効果的な表現が出来る
- 自分や他者の感性を尊重しながら、作品の良さを総合的に味わうことが出来る

【評価方法】

課題作品、課題プリント、自己評価表、授業態度・意欲